

子の目線で社会づくり

キッズデザインミーティング

子ども目線で社会づくりや商品開発を考
える「キッズデザインミーティング in
KANSAI」が大阪市北区の大阪イノ
ベーションハブで今月1日に開催された。
テーマは「子どもたちとともに創る未来」
2025年に向けて。「キッズデザイン」
の定着を目指すキッズデザイン協議会の主
催。昨年の第12回キッズデザイン賞に輝い
た操作性に優れたファスナーや「食べ残し
NOゲーム」の開発経過が報告された。

【中尾卓司】

食品ロス問題 ゲーム化

フリースクール「未^ま年の栗田^{あき}哲^{あきら}さん」は
来価値創造大学校(大^{だい}阪市)アドベンチャー
を考案し、キッズデザ
イン協議会会長賞を受
賞した。栗田さんは飲
食店の課題を調べるう
ちに食べ残しの問題が
深刻で「食品ロス」と
呼ばれて社会問題にな
った。カードゲームに
してこの問題を考えよう
と画用紙でカードを試
作。飲食店の店主が食



子ども目線で見つめる社会の環境づく
りを語り合うキッズデザインミーティ
ング参加者ら＝大阪市北区の大阪イノ
ベーションハブで

べ残しをどう減らすか
を競う「食べ残しNO
ゲーム」を商品化した。
栗田さんは「食品ロス
の問題を考えられるよ
うに、いろんな場でゲ
ームを紹介したい」と
話した。

ミーティングでは、
「キッズデザインの発
想が住みやすい社会を
築く」などと子ども目
線で考えることの大切
さが共有された。
キッズデザインの
「安全・安心に貢献す
る」「創造性と未来を
拓く」「産み育てやす
い」という三つのミッ
ションに基づき、キッ
ズデザイン協議会は、
子どもたちが健やかに
育つ社会の環境づくり
を提唱している。